

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)

【公開番号】 特開 2005-173391(P2005-173391A)
 【公開日】 平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)
 【年通号数】 公開・登録公報 2005-025
 【出願番号】 特願 2003-415426(P2003-415426)
 【国際特許分類】

G 1 0 L 13/08 (2006.01)

G 1 0 L 13/06 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 3/00 H

G 1 0 L 5/04 F

【手続補正書】

【提出日】 平成 17 年 12 月 19 日 (2005.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表記と発音の情報が関連付けられた複数の単語を含む単語辞書から処理対象の単語を取得して、その表記を複数の部分文字列に分割する分割手段と、

前記分割手段で分割された複数の部分文字列の内、隣接した部分文字列を連結して新しい部分文字列を生成する連結手段と、

前記分割手段及び連結手段によって得られる各部分文字列に対して、対応する発音を決定し、その部分文字列と発音の組を発音規則として発音規則保持部に登録する登録手段と

、
 前記発音規則保持部に登録されている発音規則の頻度に基づいて、登録されている発音規則を削除する削除手段と

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記削除手段は、前記発音規則保持部中の同一の部分文字列に対して異なる発音を有する発音規則が登録されている場合、最も頻度の高い発音規則以外の発音規則を削除することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

発音推定対象の単語を取得する取得手段と、

前記分割手段によって前記発音推定対象の単語の表記を分割した複数の部分文字列の情報を用いて、前記発音規則保持部から発音規則を選択する選択手段と、

前記選択手段が選択した発音規則を用いて、前記発音推定対象の単語の発音を推定する推定手段と

を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

処理対象の単語の表記を取得する取得手段と、

前記処理対象の単語の表記を複数の部分文字列に分割する分割手段と、

前記分割手段が分割した部分文字列の情報を用いて、発音規則を保持する保持手段から発音規則を選択する選択手段と、

前記選択手段が選択した発音規則を用いて、前記処理対象の単語の発音を推定する推定手段と

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 5】

前記分割手段は、母音字・子音字の情報を用いて、前記単語の表記を複数の部分文字列に分割する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記分割手段は、音節区切りに関する情報を用いて、前記単語の表記を複数の部分文字列に分割する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記選択手段は、前記分割手段が分割した部分文字列の区切り位置と合い、かつ最も長い部分文字列となる発音規則を選択する

ことを特徴とする請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

表記と発音の情報が関連付けられた複数の単語を含む単語辞書から処理対象の単語を取得して、その表記を複数の部分文字列に分割する分割工程と、

前記分割工程で分割された複数の部分文字列の内、隣接した部分文字列を連結して新しい部分文字列を生成する連結工程と、

前記分割工程及び連結工程によって得られる各部分文字列に対して、対応する発音を決定し、その部分文字列と発音の組を発音規則として発音規則保持部に登録する登録工程と

、
前記発音規則保持部に登録されている発音規則の頻度に基づいて、登録されている発音規則を削除する削除工程と

を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 9】

処理対象の単語の表記を取得する取得工程と、

前記処理対象の単語の表記を複数の部分文字列に分割する分割工程と、

前記分割工程が分割した部分文字列の情報を用いて、発音規則を保持する発音規則保持部から発音規則を選択する選択工程と、

前記選択工程が選択した発音規則を用いて、前記処理対象の単語の発音を推定する推定工程と

を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 10】

単語の発音を推定するための発音規則を生成する情報処理装置の制御をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

表記と発音の情報が関連付けられた複数の単語を含む単語辞書から処理対象の単語を取得して、その表記を複数の部分文字列に分割する分割工程と、

前記分割工程で分割された複数の部分文字列の内、隣接した部分文字列を連結して新しい部分文字列を生成する連結工程と、

前記分割工程及び連結工程によって得られる各部分文字列に対して、対応する発音を決定し、その部分文字列と発音の組を発音規則として発音規則保持部に登録する登録工程と

、
前記発音規則保持部に登録されている発音規則の頻度に基づいて、登録されている発音規則を削除する削除工程と

をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 11】

処理対象の単語の発音を推定する情報処理装置の制御をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

処理対象の単語の表記を取得する取得工程と、
前記処理対象の単語の表記を複数の部分文字列に分割する分割工程と、
前記分割工程が分割した部分文字列の情報を用いて、発音規則を保持する発音規則保持部から発音規則を選択する選択工程と、
前記選択工程が選択した発音規則を用いて、前記処理対象の単語の発音を推定する推定工程と
を備えることを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

上記の目的を達成するための本発明による情報処理装置は以下の構成を備える。即ち、
表記と発音の情報が関連付けられた複数の単語を含む単語辞書から処理対象の単語を取得して、その表記を複数の部分文字列に分割する分割手段と、前記分割手段で分割された複数の部分文字列の内、隣接した部分文字列を連結して部分文字列を生成する連結手段と、前記分割手段及び連結手段によって得られる各部分文字列に対して、対応する発音を決定し、その部分文字列と発音の組を発音規則として発音規則保持部に登録する登録手段と、前記発音規則保持部に登録されている発音規則の頻度に基づいて、登録されている発音規則を削除する削除手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、好ましくは、発音推定対象の単語を取得する取得手段と、
前記分割手段によって前記発音推定対象の単語の表記を分割した複数の部分文字列の情報を
用いて、前記発音規則保持部から発音規則を選択する選択手段と、
前記選択手段が選択した発音規則を用いて、前記発音推定対象の単語の発音を推定する
推定手段と
を更に備える。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

上記の目的を達成するための本発明による情報処理装置は以下の構成を備える。即ち、
処理対象の単語の発音を推定する情報処理装置であって、
処理対象の単語の表記を取得する取得手段と、
前記処理対象の単語の表記を複数の部分文字列に分割する分割手段と、
前記分割手段が分割した部分文字列の情報を用いて、発音規則を保持する保持手段から
発音規則を選択する選択手段と、
前記選択手段が選択した発音規則を用いて、前記処理対象の単語の発音を推定する推定
手段と
を備える。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

上記の目的を達成するための本発明による情報処理装置の制御方法は以下の構成を備える。即ち、

表記と発音の情報が関連付けられた複数の単語を含む単語辞書から処理対象の単語を取得して、その表記を複数の部分文字列に分割する分割工程と、

前記分割工程で分割された複数の部分文字列の内、隣接した部分文字列を連結して新しい部分文字列を生成する連結工程と、

前記分割工程及び連結工程によって得られる各部分文字列に対して、対応する発音を決定し、その部分文字列と発音の組を発音規則として発音規則保持部に登録する登録工程と

、
前記発音規則保持部に登録されている発音規則の頻度に基づいて、登録されている発音規則を削除する削除工程と

を備える。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

上記の目的を達成するための本発明による情報処理装置の制御方法は以下の構成を備える。即ち、

処理対象の単語の表記を取得する取得工程と、

前記処理対象の単語の表記を複数の部分文字列に分割する分割工程と、

前記分割工程が分割した部分文字列の情報を用いて、発音規則を保持する発音規則保持部から発音規則を選択する選択工程と、

前記選択工程が選択した発音規則を用いて、前記処理対象の単語の発音を推定する推定工程と

を備える。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

上記の目的を達成するための本発明によるプログラムは以下の構成を備える。即ち、

単語の発音を推定するための発音規則を生成する情報処理装置の制御をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

表記と発音の情報が関連付けられた複数の単語を含む単語辞書から処理対象の単語を取得して、その表記を複数の部分文字列に分割する分割工程と、

前記分割工程で分割された複数の部分文字列の内、隣接した部分文字列を連結して新しい部分文字列を生成する連結工程と、

前記分割工程及び連結工程によって得られる各部分文字列に対して、対応する発音を決定し、その部分文字列と発音の組を発音規則として発音規則保持部に登録する登録工程と

、
前記発音規則保持部に登録されている発音規則の頻度に基づいて、登録されている発音規則を削除する削除工程と

をコンピュータに実行させることを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

上記の目的を達成するための本発明によるプログラムは以下の構成を備える。即ち、
処理対象の単語の発音を推定する情報処理装置の制御をコンピュータに実行させるため
のプログラムであって、

処理対象の単語の表記を取得する取得工程と、

前記処理対象の単語の表記を複数の部分文字列に分割する分割工程と、

前記分割工程が分割した部分文字列の情報を用いて、発音規則を保持する発音規則保持
部から発音規則を選択する選択工程と、

前記選択工程が選択した発音規則を用いて、前記処理対象の単語の発音を推定する推定
工程と

をコンピュータに実行させることを特徴とする。